**地震発生時の対応（ケース①　児童生徒等在校中）**

**初期対応**（P.18）

○児童生徒への指示

・頭部保護（机の下等）

・「３ない場所」で揺れが収まるのを待つ

・落ち着いて指示を聞く

緊急地震速報作動

必要

避難の判断

不要

地震発生

○以下の場合，無条件で避難を判断

・緊急地震速報が発報した場合

・津波（大津波）警報が発表された場合

・激しい揺れが１分以上続いた場合

・施設に著しい損傷や火災が発生した場合

緊急避難場所①

（　　　　　　　　　　　）

※休み時間，始業前，放課後，部活動等，教職員が児童生徒等の近くにいない状況での対応は次ページを参照。

避難誘導

避難場所到着

①　人員確認

②　傷病者の把握・応急手当

③　報告

学校災害対策本部

設置（P.28）

○本部長（　　　校長）※職務代理者順位

　①　　　教頭　　②　　　教諭　　③　　　教諭

報告・連絡（P.6）

（教育委員会，関係機関，171の利用等）

情報収集

不要

繰り返し

避難の判断

緊急避難場所②

（　　　　　　　　　　　）

その他想定している緊急避難場所

（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

必要

避難場所到着

①　人員確認

②　傷病者の把握・応急手当

③　報告

事後の対応（P.29）

○休み時間，始業前，放課後等の対応（揺れが収まった後の対応）

①　教員が分担して校舎内を巡回

・各校舎，各フロアを巡回

・トイレ，机の下，特別支援学級教室，保健室などに留意

②　大きな声を出しながら指示

・「何をすればよいか」，「どこへ行けばよいか」，「どこを通ればよいか」

・肯定形で端的な指示を心がける

例：「グラウンドに行きます」，「西の階段をおります」，「歩きます」，「ここで待ちます」　「静かに」，「ゆっくり」

③　残留者の再確認

・避難する場合は，最後にもう一度校内を巡回し，残留者がいないことを確認する

（大きな声を出しながら巡回する）

○部活動中の対応

①　各部の顧問が活動場所で生徒の安否確認

・人員確認

・負傷者等の確認

②　責任者に報告（責任者は校長に報告）

・運動部責任者（順位）…①　　　教諭　　　②　　　教諭　　　③　　教諭

・文化部責任者（順位）…①　　　教諭　　　②　　　教諭　　　③　　教諭

・他校の生徒がいる場合は，その旨を責任者に伝える

（どこの学校の，何部の生徒が，何名いるか）

③　避難の指示

・避難する場合は，必ず顧問が引率に付く

・活動場所が同じ部活動は，顧問同士が連携して行動する